

発行所
石川県保険医協会
金沢市尾張町1丁目9番11号
〒920 尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373番
発行人 平松昌司
印刷所 ユーアイ印刷

石川保険医新聞

- 主な記事 ●●●
- 2面 医薬分業に関する懇談会
 - 3面 入院給食の助成見送る石川県施設見学会
 - 4面 デンタルスタッフ講習会
 - 5面 当院の在宅医療
— 林内科医院 —

患者に苦しみ強い今次改定

医療現場に混乱と困難が

十月一日から実施される診療報酬の改定は、健康保険法の「改正」を受けて実施されるもので、その主な内容は、①従来の看護基準に代わって新たに新看護体系を創設したこと、②付添看護の廃止に向けて、付添看護解消計画への加算点数などを新設したこと、③入院給食を療養の給付から除き療養費制度に改め、一部負担(一般の場合当面一日六百元)を徴収することになったこと、④有床診療所の一種、二種の算定基準が緩和され、看護料の引き上げが行われたこと、⑤在宅患者診療・指導料に掲げる

点数が引き上げられ、訪問者三人に一人以上のランニングがないこと、現行の特三、特二看護と比較すると、正看護婦が七〇%以上のA加算を取得できないとマイナスになることなど問題点も少なくありません。当面、「実人員」方式というもので、入院患者に対する看護職員比率(七区分)、看護職員に占める正看護婦割合(三区分)、入院患者に対する看護補助者比率(八区分)により百三十二種類の組み合わせになっていくのか、あるいは有床診療所にするのか、厳しい選択が迫られるか、厳しい選択が迫られそうです。

次に、付添看護解消計画への加算点数は、病院において二人付で三百五十点(長時間加算が百五十点)と人件費にはとも及ばず、療養費の一部負担、差額ベツドの拡大(厚生大臣の認可により一〇〇%まで可能)によりさらに負担が増えるのではないかと予想されています。

よりさらに負担が増えるの担が一層増大します。今後、風邪薬やパップ剤、漢方薬などを保険適応から除外することが検討されており、医療保険の空洞化がさらに進み、その結果、民間保険などの導入を一層招き、「金の切れ目が命の切れ目」という事態が進行します。

また、病院の格差が一層強くなるのが予想されます。厚生省は、医療法の「改正」により、特定機能病院と療養型病床群を体系化しましたが、さらに一般病院の機能分化をすすめています。必要な医師や看護婦を確保できないならば、いや応なしに、老人病院を選択する以外に道はありません。

以上述べてきたように、今回の改定は、医療機関の経営を改善し、保険で良い医療と看護を保障するものではなく、医療現場に一層の混乱と困難を持ち込み、患者に苦しみ強いことには確実なるでしょう。

持論

十月より今年二回目の点数改定が実施される。中小病院が生き残りをかけた選択を迫られるであろう。今次改定は、有床診療所にとっても、非常に大きな意味を持った改定といえる。

有床診療所からみた改定のポイントには以下のとおりである。

- (一) 有床診療所の看護料が様々な制限付きであるが一定の評価を受けた。
- (二) 入院時食事療養が有床診療所でも基準を満たせば算定できるようになった。
- (三) 診療所老人医療管理料が新たに設けられ、診療所に

保険医年會 今年度募集受付中

おけるショートステイの概念が導入された。

以上の三点は、いずれも保団連・保険医協会ならびに全国有床診療所連絡協議会などの地道な努力の結果に負うところが大きい。

有床診療所からみた十月改定

さい。特に(一)についてはこれまで、事実上法的には全く無視されてきた有床診療所の病床の存在が認知されたものとして画期的であるといえる。

しかし、厚生省の総枠規制を

有床診療所の改定でも、(一)には看護婦の数による四つの區別、そして付き添い看護の強制的廃止。(二)には栄養士の配置など厳しい基準、(三)にも同様に厳しい施設基準が設けら

有床診療所は、わずかな期間に将来の展望を含めた重大な決定を下さなければならぬ。今重要なことは改定点数に踊らされることなく、改定の持つ真のねらいをはっきりと把握し、地域医療に関わる自らの姿勢を確立することである。地域医療と患者を守るための闘いはこれからである。

あの富山個別指導事件から1年…

—この秋、立山町で全国集会を開催—

94年度全国審査・指導問題交流集会要綱

- 開催日時 10月9日(日) 午後2時～9時
*懇親会…7時半～9時
- 会場 立山国際ホテル(☎0764-81-1111)
- 主催 全国保険医団体連合会

◆ 議事・日程 ◆

- 《10/9》
- *富山個別指導事件1周年集会 (午後2時～2時半)
 - *記念講演 (午後2時半～4時)
「行政手続法と指導・監査制度」
講師 茨城大学教授・弁護士 新井 章氏
 - *基調報告 (討論含む午後4時～5時)
「審査・指導・監査をめぐる新たな情勢と改善運動の課題」
報告 河野 和夫 保団連副会長 (午後5時～7時半)
 - *分散会 (午後7時半～9時)
A 指導問題 B 審査問題 C 歯科
 - *懇親会 (午後7時半～9時)

◆ オプションツアー ◆

「紅葉の立山黒部アルペンルート」
☆詳しくは石川協会へお問い合わせください。
☎0762 (22) 5373

医心凡語

飛鳥の里は奈良市の南方、車で約一時間の距離にある。今はすすきの穂が風に揺れる穏やかな地だが、五世紀半ば允恭天皇がこの地を都と定めて後、幾らかの例外はあるにせよ二百五十年余りにわたってわが国の政治、文化の中心であった。

「飛ぶ鳥の明日香の里を置きて往なば君があたりは見えずかもあらむ」

古代びとならずとも飛鳥の里に立つ人は誰しも、いにしへの飛鳥の栄光と今の静かなたたずまいとに想いを寄せる。

かつてこの地で天下を揺るがせるクーデターが起こった。中大兄皇子と中臣鎌足らによる蘇我入鹿の暗殺とそれに続く蘇我氏本宗の滅亡。大化の改新である。

しかし、蘇我氏が滅びた甘樫丘に立ち飛鳥の里を眼下にすると、なぜか懐かしい。陰謀が企てられた飛鳥寺、暗殺が実行された板蓋宮、その後政務の中心となった浄御原宮。それらがみな手に取るように近い。半径五百メートルの円の中にすべてが納まってしまふ。なにか町内会のもめごとのような印象だ。

もちろんこの事件は単なる部族間の争いではなかった。この後の日本史を大きく変えていくことになる。翻ってどうか。いまだこの政治である。これこそ部族(政党?)間の争いだけで終わってしまわってはならない。霞が関から永田町まで五百メートルという。

最初に総務部から夏期学習会の実のある報告がなされた。(詳細は八月号に掲載されています)

全国審査・指導問題交流集会には理事も出席し、今後の個別指導の改善のために勉強してきたいと

り大盛況だったことが報告された。また秋のレクリエーションの出席者が少なく、今後はどのような企画をやる必要があるのかいろいろの意見が出されたが、レクリエーションの多様化もあり結論は持ちこされた。

医療運動の一層の強化を

第7回理事会

7月19日・13人出席

して開かれた医薬分業に関する懇談会の報告がなされ、今後の推移に十分に注意していくことが大切と思われた。また、十月の診療報酬改定への対応が討議され、適切な講師を招いて説明会をする方向に話がまとまっていた。今回、富山県立山町の不幸な事件後、審査・指導に対して改善する動きが生まれてきている報告がなされ、十月九日・十日に立山町で開かれる

報告された。歯科部では、デンタルスタッフ講習会が好評で四十七人もの参加者があ

て署名運動を実施することになった。(近藤 記)

理事 会 点 描

七月二十四日に肢体不自由児施設「第二石川整肢学園」と身体障害者療護施設「陽光園」の見学を行い、今後の公的援助や福祉政策の方向性について熱い議論から始まりました。心身に障害を有する人々が、一般社会から隔離収容されるのではなく、「生きる」ことの平等自由を確立する運動

770人の会員のため責任ある協会活動を

第8回理事会

8月2日・13人出席

が必要と感じました。石川県保険医協会も会員七百七十人となり、協会の活動にも「会員の声」を反映する重い責任が伴うことを再認識しました。医療行政に対して要求活動する協会には、その要求が否定されても、継続して行動を展開する責務があるのです。(徳田 記)

従業員雇用に関する懇談会

とき 十一月十二日(土)午後七時~九時

ところ 金沢都ホテル 七階「飛翔の間」

講師 社会保険労務士 久乗政勝 先生

◎詳しくは後日案内チラシでお知らせします。

(お願い)

上記懇談会の企画に際しまして、特に聞きたい、知りたい問題などがございましたら協会までご連絡下さい。

医薬分業に関する懇談会

患者、医療機関双方の

メリットを探って

七月十七日、金沢市薬剤師会副会長の北村喜久雄先生と医薬分業を完全実施している新谷寿久先生を迎えて、協会では初めて医薬分業に関する懇談会を開いた。

参加者は医師、病院事務局長、薬剤師など二十二人。最初に北村先生より、石川県の医薬分業の実状、調剤薬局の受け入れ体制などについて話題提供があった後、参加者全員で医薬分業に対する考え方について意見交換した。

・医療機関の経済性から出た後、参加者全員で医薬分業に対する考え方について意見交換した。

・調剤薬局における薬歴管理により、他科受診の患者への重複投与が再チェックされる。

・医療機関よりも調剤薬局の方が質問しやすい雰囲気があり、薬剤師により、適切な服薬指導が受けられる。

・これまでの薬局業務から解放されて窓口業務が簡素化され、余裕のある患者対応ができるようになった。

一方、医薬分業のデメリットとしての主な意見は、次の三点である。

・医療機関の経済性から出た後、参加者全員で医薬分業に対する考え方について意見交換した。

・調剤薬局における薬歴管理により、他科受診の患者への重複投与が再チェックされる。

・医療機関よりも調剤薬局の方が質問しやすい雰囲気があり、薬剤師により、適切な服薬指導が受けられる。

・これまでの薬局業務から解放されて窓口業務が簡素化され、余裕のある患者対応ができるようになった。

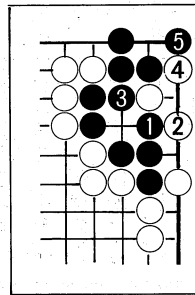
一方、医薬分業のデメリットとしての主な意見は、次の三点である。

・医療機関の経済性から出た後、参加者全員で医薬分業に対する考え方について意見交換した。

・調剤薬局における薬歴管理により、他科受診の患者への重複投与が再チェックされる。

・医療機関よりも調剤薬局の方が質問しやすい雰囲気があり、薬剤師により、適切な服薬指導が受けられる。

囲碁解答

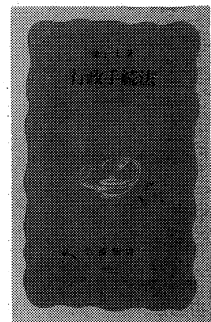


両ゴウで生きとります。

新刊案内

行政手続法

兼子仁 著



岩波新書 定価 620円

紹介者 安藤良一 (金沢市)

来る十月一日から施行となる行政手続法については当紙の八月号で報じたが、その際、参考図書として紹介されたのが本書である。

わが国の「行政処分」「行政指導」は不透明、不公正であると内外から批判されてきたが、三十年余りの生みの苦しみの末、日米構造協議、第三次行革審、情報公開法などが引き金となって、ついに昨年十一月公布されたのが「行政手続法」である。

著者の兼子仁氏は、この法律を①行政処分基準の公表、②申請の公正処

国民の一人として、また、保険医として、日常的に関わりの多いこの法律を知っておくのは決して無駄でない。

「本当の正義は、それが行われていると明らかに見えるのでなければならぬ」という社会正義観を強調し、本法の学習と理解の普及を推めている。

要因との指摘があった。協会では、これからも医薬分業の是非について検討していくことにしている。(経営・共済部)

①調剤薬局が近くにあり、患者に不便をかけること、②よく相談にのれる薬剤師がいて、医療のネットワークができることが不可欠の



話題提供する新谷寿久先生(左)と金沢市薬剤師会副会長の北村喜久雄先生

全国地域医療活動交流集会

小児、高齢者ら社会的弱者が人間らしさを取り戻せるように

舟木直茂 (金沢市・内科)

七月三十一日、東京で全国地域医療活動交流集会が開かれた。テーマは「地域の保健・医療・福祉の充実をめざして」で、これからの超高齢化社会・少子化傾向の中で、市民の命を守るため、各協会が行政にいかにかきかけ、付き合っていくかを中心に話し合われた。

『老人保健福祉計画』に關しては、まず東京目黒区が先に先立って一九九二年から実施した訪問看護や医師訪問指導の実態が示された。訪問指導実施中の事故には、区の担当者が相談に応ずる旨も明記されており、関係医師の不安も取り除くよう配慮されていた。また、愛知協会がまとめた県下全市町村の各種福祉サービスで、高齢者一人当たりの量のランク表は、それを公表することにより全体の福祉

レベルの向上に寄与すると考えられた。

『乳幼児医療費無料化運動』は着々と進んでいるが、今後入院給食の有料化が、せつかくの各自自治体による助成事業を空洞化させる恐れもあり、自治体に働きかけ、ともに政府に向けて要望していく必要がある。

歯科関係の積極的活動としては、大分での未認可保育園における乳幼児歯科検診(今のところボランティア活動)の取り組み、そして愛知県西春日井郡での特養老人施設新設にあたっての歯科治療室設置要望運動などが紹介された。小児そして高齢者といった、言わば社会的弱者が人間らしさを取りもどせるよう協会会員が地道な活動を繰り広げているという点で印象深かった。

石川県の福祉医療行政

入院給食の助成見送る

健康保険法改定により、十月から入院給食が有料化されることに伴い、政府・厚生省は八月十九日、全国保険・国民保険主管課長会議を開き、「入院時食事療養費に係る標準負担額(一日六〇〇円)については、在宅と入院、あるいは施設入所者との負担の公平性を図る制度の趣旨から地方単独事業による軽減はしてはいけない」「食事療養費の標準負担は、給付と負担の在り方の見直しにより、これまでの定率負担とは異なつた考えで定額負担をしていただくもの」と訓示し、地方単独事業による標準負担額の減額措置を厳しく戒めています。

このため石川県の三つの単独事業「乳幼児医療費助成」「老人医療費助成」「心身障害者医療費助成」の入院給食を公費負担とす

るか、自己負担とするか、県当局の姿勢が問われていた。九月議会に提案された石川県補正予算では、乳幼児、老人、障害者の入院給食は助成対象にせず、小児特定疾患(小児喘息など、一カ月以内の入院)だけを助成対象にするという厳しい内容でした。

今年三月の県知事選挙の際に、谷本知事は保険医協会の医療政策アンケートで

保団連病院・有床診療所問題交流集会

十月改定に向けて十分な検討と対策が必要

筑田正志 (松任市・外科)



全国から病院・有床診の医師、事務担当者が集まり、会場は超満員となった

久しぶりに全国規模の集會に出席し相変らずの熱気に触れ懐かしく感じた。しかし、医療を取り巻く環境は厳しく、危機意識は一層増大している感じがした。

十月改定への基調報告、西洋における病院の歴史およびその精神に関する記念講演、新看護体系についてのシンポジウム、有床診療の点数説明会と、実に充実した二日間だった。

今回の改定は、主として看護体系であったとは言え、これからの医療は「治療」から「ケア」へと重点が移りつつあるとの感を深くした。ここでの主役は医師ではなく看護婦を中心とした

原稿募集!
(編集部)

は乳幼児医療費助成には前向きな回答(①六歳児まで拡大、当面、二歳児までの無料化、②現物給付も検討する)を寄せており、当選後初の六月議会で、三歳未満児までの入院医療費への助成を補正予算に組み、十月から実施されます。

石川県として十月から三歳未満児までの医療費助成を拡大する矢先に、入院給食への助成を見送ることは、安心して子どもを産み育てられる環境づくり(乳幼児医療費の無料化)を求める県民の願いに背を向けたもので、極めて残念な県当局の姿勢です。

私たち保険医協会では、引き続き、次の改善要求の実現を訴えていきたいと考えています。

会員各位のご理解とご支援をお願いいたします。

記

(一) 乳幼児医療費助成等単独事業については、入院時食事療養費も助成対象とすること。

(二) 十月から実施される一、二歳児の入院医療費助成を外来患者にも拡大すること。歯科医療については、対象年齢を六歳児まで引き上げる。

(三) 千円足切りの償還払いを廃止し、現物給付に改めること。

黄色いハガキから

【問題事例 83】

最近、審査委員会でCRP検査は高血圧のみでは不可との通達が出ました。高血圧と心疾患の合併の可能性も少なくないと思われ、チェックのための検査の一つとして、必要ではないでしょうか。また、どの程度の合併症で施行可でしょうか。

《保険医協会の意見》
高血圧症のみの病名で、ルーチン検査に近い形でCRP検査が行われる場合は認めないとするものであり、CRP検査を全く認めないわけではありません。

CRPが、各種の細菌感染症、膠原病、心筋梗塞など多くの炎症性疾患や組織崩壊性疾患の急性期に増加することを考えれば、そのような疾患が疑われる場合に実施すべき検査と言えるでしょう。心疾患の合併を疑う場合、よりの確な検査は、心電図、胸部X P検査であって、CRP検査でまずチェックするというのはいかがなものでしょうか。(学術・保険部)

彼女ら一人当たりの年間看護料を計算してみると約二倍にも及ぶ格差がみられる。これは大きな矛盾と言わねばならない。

入院環境料、今回の新看護体系、給食料の一部負担、ビタミン剤の使用制限の拡大、細部にわたる規制強化などの意味するところを十分に検討し、早急に対策を立てなければならぬ。

勝手な差額徴収を禁止しながら公的保険の責務の縮小を必死になって図っている。日本医師会に対策はあるのだろうか、期待したいものだ。

施設見学会

「陽光園」第二整肢学園を見学 障害者の実情を知る貴重な機会

井 沢 恵 美 子 (金沢市・井沢内科医院)



中川園長から施設の概要を聞く参加者

朝から三十度を越す猛暑の中、途中、道を間違えたりしながら、やっと「陽光園」に着きました。

はじめに中川園長から重度(一・二級)の身体障害者百三十人の施設の概略をお話いただきました。

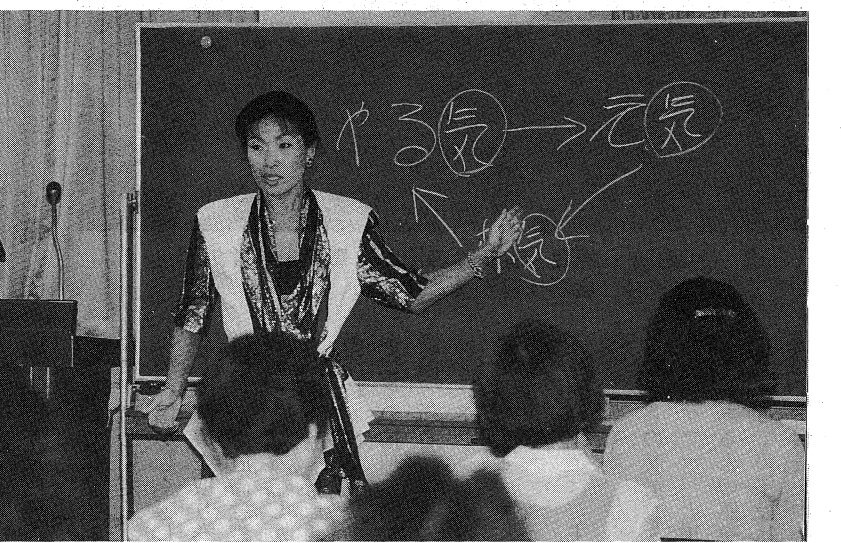
一九七三年にオープン、職員八十五人、利用者が少しでも家庭的な雰囲気で作らせるように、また地域の人たちと交流が持てるよう、できるだけ外にも出られるよう、日課や年間行事を通して色々工夫されている様子をお聞かせいただきました。

年三回(五月の連休、盆年末年始)の帰宅日も親の高齢化、家族の世代替わりなどで全く帰宅できない方が多くなっています。

廊下で会う利用者も「こんにちは」と声をかけると「こんにちは」と答えられ、それぞれの方が穏やかな表情をされていたのが印象的でした。

廊下でつながる第二石川整肢学園は肢体不自由児施設で、小松市立養護学校も併設されています。

日曜日のせいにか子供たちの姿も少なく静かでした。重度の障害を持つ子がほとんどで目が離せないというところで、看護職員が全体を一望できる大部屋は、看護職員配置数をはじめ障害児・者に対する国の施策の立ち遅れを目のあたりにしたようで、暗い気持ちになりましたが、壁に掲げられた子供たち一人ひとりのかわい目を見て、この目標を頑張ってください、また次の目標に向かって歩んでほしいと願うばかりでした。



講師の二木あつ子先生によるエネルギッシュな講演と、腹式呼吸による発声練習や笑顔の練習などたくさんの実技が行われ、2時間はあっという間に過ぎた

今回の講師はスピーチのプロであるアナウンサー、それもMROラジオの毎週月曜日夜八時からの「ふり向けばOBAN」のレギュラーアナウンサーを招いての講習会でした。プロのアナウンサーに「患者さんへの接し方」が分かるのかし

らん、というなかれ。二木あつ子氏は一般会社の新入社員を主な相手に「接客、受付の応待の仕方」などを教育するインストラクターとしても知られる方なのです。

今日の講習会では、いきなり気功体操から始められ、

参加者全員やよとまじい(?)ながらも二木氏の「良い気」を取り入れる体操を行いました。これによって全員リラックスしたようです。

続いて話し方、顔の表情の出し方の基本について話されました。発声では腹式呼吸を行いながら、明る

く、やさしく、元氣よく、はっきりとした声できれいな敬語を使うように。表情では、相手に良い印象を与えるために、必ず笑顔をつけて話すこと。そのために目に親しみを込めて「ニコリ」と、七分咲きの笑顔で話すこと。そのための表情訓練も行われ、「ウイスキーブリーズ」と言いながら相手をみつめるように訓練したりすると効果的とのこと、参加者全員、順番に「ウイスキーブリーズ」と言って次の人に良い笑顔を送る訓練がなされ、さらに発声練習、早口言葉の練習も行われました。

以下、その他のポイントを記します。

電話の応待では①ベルが鳴ったらすぐ出る、②こちらをまず名のり、相手を確かめる、③あいさつする、④用件を伺う、⑤要点復唱、確認する、⑥あいさつしてから切る。

相手の電話の音が聞きとりにくい時、分かりにくい時は「声が小さいので分かりません」と言っただけではダメです。

以上、あたり前のことかもしれませんが、各自注意して気持ちの良い医療現場を作っていくようではありませんか。

講師に二木あつ子先生を招き 講演と実技で充実の二時間

佐々木邦夫(松任市・歯科)

デンタルスタッフ講習会

今回の施設見学会でも、施設が市街から遠く離れており、静かな環境とはいえない地域の人々と日常のつながりを持つことができないことを痛感し、また、毎日の介護で腰痛など大変な中を頑張っておられる職員の様子など、色々勉強させていただいた貴重な半日でした。これからも、障害者の問題に関心を持ち理解を深める上で、まず実情を知るために、このような企画をもっていただけだと思えます。

く、やさしく、元氣よく、はっきりとした声できれいな敬語を使うように。表情では、相手に良い印象を与えるために、必ず笑顔をつけて話すこと。そのために目に親しみを込めて「ニコリ」と、七分咲きの笑顔で話すこと。そのための表情訓練も行われ、「ウイスキーブリーズ」と言いながら相手をみつめるように訓練したりすると効果的とのこと、参加者全員、順番に「ウイスキーブリーズ」と言って次の人に良い笑顔を送る訓練がなされ、さらに発声練習、早口言葉の練習も行われました。

以下、その他のポイントを記します。

電話の応待では①ベルが鳴ったらすぐ出る、②こちらをまず名のり、相手を確かめる、③あいさつする、④用件を伺う、⑤要点復唱、確認する、⑥あいさつしてから切る。

以上、あたり前のことかもしれませんが、各自注意して気持ちの良い医療現場を作っていくようではありませんか。

第12回 老後問題を考える石川のつどい

安心して暮らせるまち

～高齢者の人権が生きる地域づくり～

■ と き 10月30日(日)

午後1時～午後4時

■ と ころ 七尾サンライフプラザ

中ホール

主催 老後問題を考える石川のつどい / 共催 七尾市

後援 七尾市医師会、鹿島郡医師会、七尾生活協同組合

◎お問い合わせは保険医協会までお電話で ☎0762 (22) 5373

◆第一部：特別講演

東洋大学教授 大友信勝氏

◆第二部：シンポジウム

- 行政の立場から 多田清孝氏 (七尾市民生部長)
- 医療の立場から 村本信吾氏 (公立能登総合病院院長)
- 住民の立場から 織田しずゑ氏 (七尾市健康づくり推進委員)
- 古田励子氏 (七尾工業高校教諭)
- 川島ひろ子氏 (七尾保健所所長)
- 井上英夫氏 (金沢大学法学部教授)



林先生と奥様(右)、スタッフのみなさん

林内科医院は加賀市の南端に位置する、内科医師一人、看護婦五人、事務・薬局六人の計十二人からなる医院で、七年前の一九八七年四月に開設され、地域医療をおこなっています。

在宅医療に関しては、受け付け申し込みがあれば、できるだけ積極的に対応してゆく方針に従っており、定期往診の場合、一日五人までを予定表にリストアップし、午後一時から三時半までの時間帯にて往診しています。八月現在、二十二

人の患者さんがリストアップされており、その内訳は老人性の寝たきり状態八人、老人性の在宅療養六人、脳卒中後遺症三人、癌手術後の在宅療養二人、その他の疾患三人です。

老人病棟や老人施設などの高齢者医療・福祉施設が増加しても、在宅医療を希望する患者さんは、かなりの数があるものと推定されます。しかし、在宅医療はわれわれの医療の提供のみで成り立つものではなく、現実生活の中では家族の協力と介護力に左右され、このような介護力のバックアップがなければ在宅療養の継続は不可能です。また、介護力が十分に確保されている場合でも、在宅療養中にイレウス・尿閉・重症の食思不振・重症の褥瘡が発生した場合には、われわれの医療の提供レベルが問題となり、おのずから限界に達して病院への緊急入院を依頼することになります。

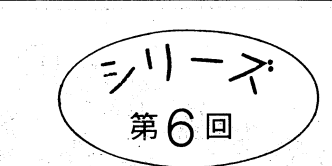
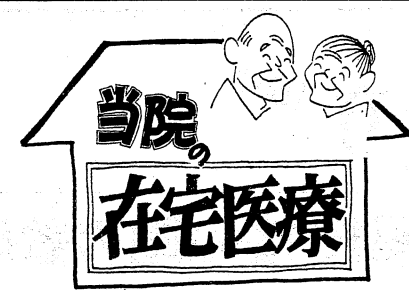
今から三年前の一九九一年には、当院は百一歳が一人、九十九歳が二人(長寿横綱三人)の在宅医療往診をしていました。この百一歳のおおあさんは慢性気管支炎以外には病氣らしい病

九十九歳(二人)のおおあさんは、一人は重症病態に対する医療提供レベルの問題にて、また一人は家族の介護力の問題にて、二人とも途中で在宅療養の継続が不可能になり、病院転送となりました。これらの症例が示すように、一般には自宅を最期をむかえたいと希望される人は圧倒的に多いのですが、現実には医療と介護の二点を最後まで満足に継続維持するのは、かなり至難であると思います。

老人医療は、現在も、そして今後も、病院内で延命す。(林武彦 記)

意外に多い「在宅」の希望

意外に多い「在宅」の希望



林 内科医院 (加賀市大聖寺・内科)

看護・介護・リハをどこまで提供できるか

在宅医療に関しては、受け付け申し込みがあれば、できるだけ積極的に対応してゆく方針に従っており、定期往診の場合、一日五人までを予定表にリストアップし、午後一時から三時半までの時間帯にて往診しています。八月現在、二十二

ちよと聞いて (その6) いびきの定義は、睡眠中にのみ起こる異常呼吸とされており、

いびき 睡眠時無呼吸症候群に注意 宮崎 巨 (浅川総合病院) 眠時無呼吸症候群の可能性はないかということに

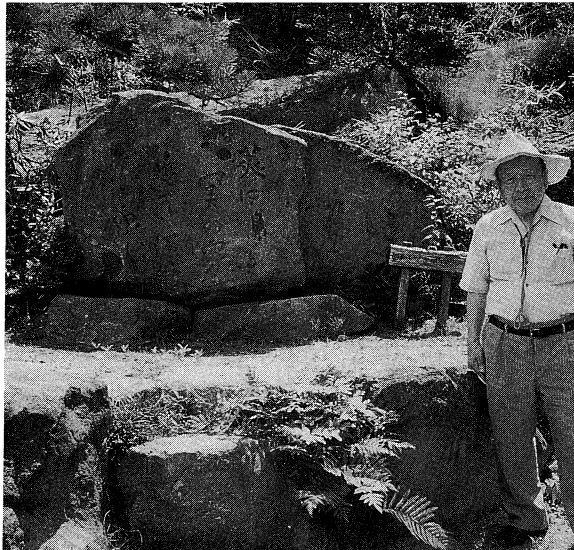
保険医協会の会員数 医科 558人 歯科 212人 合計 770人

『月刊保団連』が表紙写真を募集しています 開業保険医の機関誌である『月刊保団連』の1995年度「表紙」(1995年2月号から1996年1月号まで)を、会員の皆様の写真で飾っていくこととしました。

栗野利雄先生の 記念碑めぐり [55]

黒田桜の園の歌碑

(金沢市・医王山)



黒田桜の園の歌碑と栗野先生

金沢で「風」を創刊 地方俳壇に新風送る

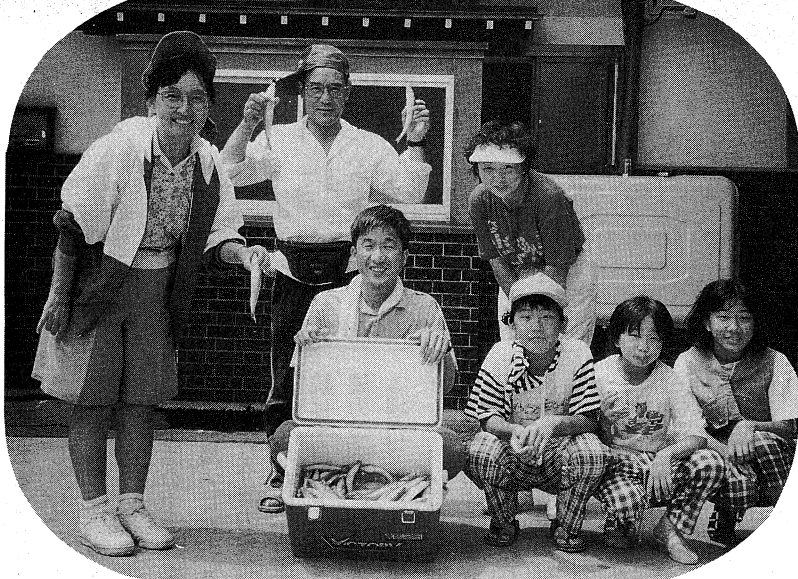
黒田桜の園こと黒田尚 三十六年(昭和三年)生まれ。旧姓文は、一九〇三年(明治)は山本であった。

父が陸軍勤務であったため、各地を転々と移り住んだ。
金沢一中に学び、最近死去した旧金沢市長の岡良一も、腕白時代の友人の一人であった。
一九二八年(昭和三年)に日大専門部を卒業し、五年後、金沢市野田町にあった歯科開業医黒田家に入婿。その後、弥生町に移り医療に従事した。
俳句は大正末期に水原秋桜子を知ったことに始まる。「ホトトギス」(高浜虚子)、「辛夷」(前田晋羅)、「寒椿」(加藤楸邨)、「鹿火屋」(原石鼎)などに出句したり加わったりした。
しかし、一九五七年(昭和三十一年)、「馬

酔木」の同人に推挙されてからは、もっぱら同誌を拠点に活躍した。
一九四六年(昭和二十一年)には、戦後の荒廃の中で沢木欣一や中西輔士らと共に、金沢で「風」を創刊し、地方俳壇に新風を送ったことでも知られる。
俳人桜の園はまた、早くから絵画に長じ、日展入選六回という洋画だけでなく、水墨画、ガラス画も得意としている。個展の回数は十七回以上に及び、小説や短歌、戯曲に打ち込んだ時もあった。
桜の園という号は、かつてチェホフの「桜の園」を愛読したことによるという。また、「鬼木」の号も持ち、「三面鏡」

(一九八〇年)は文人「桜の園」を知る上に都合がよい。
医王山の麓には「茨に鳴る実の家出て何処へゆく」の句碑がある。戸室山の優雅な姿に限りなく惹かれて詠まれたものであり、氏が四十代を迎えて句作に行き詰まったあげく、ようやく新境地を拓いた時の心象句でもある。
雪虫や わづかにかわく
雪囲ひ 解くや夕風ぐ
雪囲ひ 解くや夕風ぐ
石の角
雪囲ひ 解くや夕風ぐ
七ツ島
離のため 灯る明治の
シャンデリア
田仕舞ひ 馬車や薄暮の
柿の下
現在も第一線で活躍中。
当年九十一歳。

キス釣り大会



・・・大漁に喜ぶ参加者・・・

7月30日(土)・31日(日)の両日、今年で3回目をむかえたキス釣り大会が開かれました。
今年は参加者が11人と少なかったものの、初日の能登島荘の超新鮮魚料理と翌日の船釣り共に好評で、2日間の休日を有意義に過ごしました。

石川県保険医協会 秋の食べ歩き会

特別企画

気功の専門家、水上裕規氏を招いて

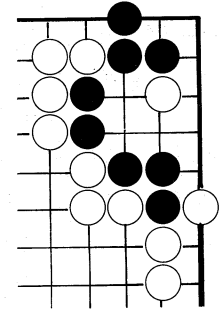
- とき 10月25日(火) 午後7時半～9時半
- ところ 「ラズベリー」
ホリデイ・イン金沢 14階(金沢駅前)
- 参加費 お一人様 10,000円(込) *当日ご持参下さい。
- 申込み 10月17日までに保険医協会事務局へお電話にてお申し込みください。定員に達し次第、締め切らせて頂きます。
☎0762(22)5373

グループ保険ご加入の皆様へ ～今年度配当金のご案内～

保険医協会の三大共済制度の一つ、グループ保険にご加入いただきありがとうございます。
さて、本年度保険期間(1993年8月1日～1994年7月31日)におきまして保険金支払額は6千万円で、わずかですが剰余金を配当できることになりました。配当率は、年間保険料の10.67%です。この配当金は、10月5日付にて加入者の保険料引き落とし口座に振り込みいたします。
なお、この配当金は掛金負担者がご本人の場合、課税対象になりませんので申告の必要はありません。
(共済部)

碁

出題者
七段 向井富治(金沢市・内科)



高林共平師範と森田清人五段の対局に現れました。黒番です。

訂正とお詫び

本紙八月号八面掲載の高橋三郎先生の投稿写真・詩の解説文中、「金沢大学」は「金澤文學」の誤りでした。訂正し、お詫び致します。
(編集部)